

2018年度日本臨床検査医学会 第1回理事会（現理事・監事）議事録

日時：2018年3月24日（土）11:00～13:00

場所：学士会館 2F 202号室 東京都千代田区神田錦町 3-28（〒101-8459）

出席：矢富 裕理事長、山田俊幸副理事長、村上正巳総務理事、諏訪部章会計理事、
前川真人、宮地勇人、大谷直人、木村 聡、戸塚 実、柴田綾子、賀来満夫、通山 薫、岡山昭彦 各理事、
高木 康 監事（14名）

陪席：古川泰司、古田 耕、松尾収二、大西宏明、藤井 聡、東田修二、田中靖人各次期理事候補者（7名）
野澤孝志 会計顧問

欠席：東條尚子庶務理事、小柴賢洋、下 正宗、清水 力、本田孝行、石井潤一、一山 智 各理事、
尾崎由基男 監事（8名）

黙禱

会に先立ち、以下物故者を偲び黙禱が捧げられた。

2017年12月29日 功労会員 上平 憲 先生（71歳）（長崎大 前教授）

その後、矢富裕理事長から挨拶があり、理事会（現理事）の議事を進めた。

I 報告事項

1. 支部報告

各支部の終了した例会・総会・地方会、そして例会・総会・地方会の予定、支部役員の交代、支部での検査関係の教授、部長、技師長の退任・新任等について報告があった。

2. 委員会報告

1) 編集委員会（村上正巳 担当理事）

2018年2月21日に委員会を学会事務所で開催した。

2018年4月からの編集委員5名の確認、2017年度学会賞優秀論文賞候補論文の選出、論文投稿の投稿原稿添付用紙作成、COI報告書の更新、JCCLS MacRMの値付けに関する資料とISO 15189認定に関するアンケート報告の臨床病理への掲載について検討したこと、投稿規定の改定、トピックステーマ、投稿論文の審査進捗状況の確認等について報告された。

編集委員会委員5名の交替が承認された。

2) 学会賞委員会（戸塚 実 担当理事）

2018年度学会賞選考日程（案）が報告された。

3) 倫理委員会（諏訪部章 担当理事 通山薫 委員長）

2017年11月、第64回学術集会において、医療倫理シンポジウム「検体の取扱いと研究倫理の最前線」を開催し、その議論を踏まえ「臨床検査を終了した残存検体（既存試料）の業務、教育、研究のための使用について」学会見解の改訂案を策定し、12月の理事会で承認された。確定版は臨床病理66巻1号に掲載済みであることが報告された。

2018・2019年度倫理委員会委員名簿が提示され、承認された。

4) 国際委員会（村上正巳 担当理事欠席のため）

LMCE2018 and KSLMでのkeynote speaker 1名（矢富裕先生）、symposist 1名（古川泰司先生）を推薦することが報告され、承認された。

5) チーム医療委員会（諏訪部章 担当理事）

2018・2019年チーム医療委員会委員案が提示され、承認された。

3. 第 65 回学術集会報告（東京 2018/11/15(木)～11/18(日)）（村上正巳 総務理事）

2018年11月15日（木）～11月18日（日）に、京王プラザホテル（東京）において、村田満学術集会長（慶應大）のもと「新しい医療を支える検査の力」をテーマに開催予定であり、特別講演、招聘講演、特別企画1, 2が紹介された。

4. 第 66 回学術集会報告（岡山 2019/11/21(木)～11/24(日)）（通山 薫 会長）

2019年11月21日（木）～11月24日（日）に、岡山コンベンションセンター（岡山）において、通山薫会長（川崎医大）のもと開催予定であり、学術集会企画委員会での協議内容に基づき企画していくことが報告された。

5. 熊坂一成先生からのご意見「検体検査管理加算 IV に関して」（矢富 裕 理事長）

次回、診療報酬改定での検体検査管理加算IVの要件変更に関しての意見があったことが報告された。臨床検査室医療評価委員会などで検討することとなった。

6. 関西医科大学臨床検査部の教員募集の周知依頼について（矢富 裕 理事長）

関西医科大学臨床検査部・検査科の教員募集にあたり、当会臨床検査専門医（あるいは目指している）という条件にて周知依頼があり、募集に関して適任者からの応募を促すため、ホームページへの掲載、・評議員へのメール配信、・当会 現・次期近畿支部長への告知等を行ったことが報告された。

7. 名誉会員・功労会員の取扱いに関する申し合わせについて（諏訪部章 会計理事、矢富 裕 理事長）

名誉会員は会費納入を要せず、功労会員は会費（7千円）の納入を要し、双方とも終身称号であるが、連絡先等が不明となってから3年目の事業年度までに連絡が取れない場合は名簿から外す。ただし連絡があった時点で名簿に戻すという申し合せを策定したことが報告された。

8. 検体検査の精度管理等に関する検討会について（矢富 裕 理事長）

検体検査の品質・精度を保つための法改正が可決された。その後、厚労省の検討会が立ち上がり5回で終了。検討会とりまとめが作成中であることが報告された。学会においても、取り組みを進める予定。

9. その他

特になし。

II 審議事項

1. 2017 年度に関わる事業報告・会計収支決算報告について（村上正巳 総務理事、諏訪部章 会計理事）

・事業報告書、貸借対照表、損益計算書、監査報告書が提示され、事業報告については村上正巳総務理事から会議、会員数、関連団体行事、経過及び実績、活動、各種委員会、対処すべき課題として学会の活性化、専門医ならびに管理医の養成そして倫理観の向上等の報告があった。

・会計収支決算報告については、諏訪部会計理事から報告、説明があった。

過去4年間の事業成績及び財産の報告があり、一般会計については、収入のJACLaSからの寄付金、外販および広告収入をはじめ減収が大きかった。支出は予算に対して経費削減できた。

次年度からの対策としては、支出の4割を占める学会機関誌発行費用の削減としての発行方法の見直し、学術集会補助金の原則返金等の考えが提案された。

特別会計は、2016年度からの継続事業として記録集を作成し、関係機関に配布した。

アジア交流基金については、第64回学術集会期間中に開催した理事会等の会議費の補助をした。

ASCPaLM 会費未納分を支払う予定であったが、2018年のモンゴルでのASCPaLMの際に支払が持ち越された。

学会賞基金については、協賛社からの寄付金収入、学会賞、国際学会奨励賞の副賞は予算通りの収支であった。

なお、ロシュからの寄付金については、これまで隔年で100万円であったが、毎年50万円の寄付となった。

第 63 回学術集會会計報告は既に理事会で報告済みであるが、2017 年度に係る定時社員総会で、2017 年度会計報告と第 63 回学術集會会計報告し承認を得たうえで合算して税務申告する。なお、学術集會会計報告は、定時社員総会への報告、税務申告は会計のまとめの都合上 1 年遅れとなる。

高木康監事より、2018 年 3 月 1 日に学会事務所で会計監査を行い、事業報告、会計書類の確認をし、理事職務執行、会計報告書類の記載は合致しておりの確であると監査報告があり、承認された。

2. 2018・2019 年度役員について (矢富 裕 理事長)

定款第 6 章 理事および監事 (選任) 第 27 条 3「理事長は、理事および監事の選任を定時社員総会の決議に諮る場合、理事および監事選任議案を作成して提出しなければならない。」により、2018・2019 年度の理事候補者として、2016 年度就任で選挙によらず重任可能な理事の 6 名および 2018 年度就任の 4 名、支部から推薦された支部理事 7 名、次期理事長予定者より推薦された指名理事 4 名、監事候補者 1 名が提示され、承認された。

3. 評議員再任単位に関する改定 (案) について (谷直人 会則担当理事)

評議員再認の必須単位として、学術集會のほか、特別例会参加を追加した細則改定案が提示され、承認された。

4. 大学医学部における臨床検査医学講座の重要性 (案) について (矢富 裕 理事長)

先の「臨床検査医学講座の在り方と教授の選考にあたって-日本臨床検査医学会の考え方-」に代わる、「大学医学部における臨床検査医学講座の重要性 (案)」が提案された。これまでは、教授としては臨床検査専門医の選考を推奨したが、臨床検査医学講座の維持を重視している。医療法の改正や、がんゲノム医療中核拠点病院、連携病院等についても加えたほうがよいのではという意見があり検討するが、主な内容としては承認された。

5. 新専門医制度関連事項 (山田俊幸 副理事長)

1) 2019 年度の専攻医に向けた専門研修プログラムの提出依頼 (新規・変更)

- ・新規プログラム申請
- ・昨年承認されたプログラムの修正

新規申請および昨年の変更・修正について、4 月末での申請依頼をし、5 月審査、6 月日本専門医機構への提出をする予定であることが報告され、承認された。

2) 日本専門医機構 基本領域 臨床検査専門医 認定証について

日本専門医機構 基本領域 臨床検査専門医 2018 年 1 月 1 日付更新者 (62 名) は、次のとおり承認された。

12 月 16 日 当会 新専門医制度更新資格審査委員会で審査のうえ承認 (12 月 23 日 当会 審議会報告)

2 月 28 日 日本専門医機構 専門医認定・更新部門委員会・基本領域専門医委員会にて審査のうえ承認

3 月 16 日 日本専門医機構理事会にて正式承認

3 月 23 日 日本専門医機構から更新料請求があり、その入金確認後に認定証発行予定であることが報告された。

なお、認定証見本を資料とし、確認したところ、英文の認定日に誤りがあったため、日本専門医機構に確認することとなった。

3) 日本超音波医学会からの Subspecialty 領域承認依頼について

日本超音波医学会より臨床検査領域の Subspecialty 領域の承認の要望があったことが報告され、承認された。

6. 日本医学会、日本医学会連合、日本医学会総会関連事項について (矢富 裕 理事長)

1) 第 30 回日本医学会総会 2019 中部パネル展示参加伺いについて

第 30 回日本医学会総会 2019 中部より日本医学会分科会に学会のパネル展示参加伺いがあったことが報告され、参加することが承認された。なお、パネル内容については広報委員会に検討依頼をする。

2) 日本医学会総会奨励賞候補者推薦のお願い

理事にメールでも周知していた日本医学会総会奨励賞候補者推薦依頼について、再度、報告され 6 月末頃までで該当者の推薦依頼がなされた。また、評議員にもメールを配信することとなった。

3) 第 154 回日本医学会シンポジウムテーマ案募集について

第 154 回日本医学会シンポジウムテーマ案の募集があったことが報告され、是非とも当会から応募したいため、4 月末頃までにテーマ案の検討が要請された。

4) 日本医学会連合加盟学会連携フォーラム共催事業について

日本医学会連合加盟学会間の分野横断的な連携・交流を深めるため、複数のカリキュラム名学会による連携フォーラム（締切特になし、半年前に申請）の募集依頼があったことが報告され、評議員に意見を伺うこととなった。

5) 日本医学会連合への共催・協賛・後援の依頼に対する基準について

日本医学会連合への共催・協賛・後援の依頼に対する基準に関する内規の確認依頼があったことが報告され、確認依頼がなされた。

7. その他（矢富 裕 理事長）

新理事会終了後 15 時 30 分からの新旧理事会懇親会の案内があった。

VI 閉会（矢富 裕 理事長）

今回、退任理事より一言ご挨拶をいただいた。

その後、閉会の言葉があり本理事会は閉会された。

以上

議事録署名人

理 事 長

矢 富 裕 ㊟

副理事長

山 田 俊 幸 ㊟

監 事

高 木 康 ㊟